



21世紀に対応する 産業構造の構築に つとめます。



パトロールも強化し、冬季交通に不便のないように努めます。

なお、救急救命士による気管内挿管問題については大変重く受け止めていますが、これを単純に救急救命士の不適正行為として処理することは、事の本質の解決にはならないと考えています。今後入念に検証し、国や県とも協議しながら市民の安全確保最優先の対応を検討してまいります。

福祉 支え合い、みんな健康で 幸せに暮らすまち

乳幼児からお年寄りまで、だれもが健康で幸せに暮らせる社会を実現するため、お互いに助け合い、支え合う共生社会を築くことが必要となっています。

お年寄りや障害のあるかたが、安心して生きがいをもって生活できるよう、生活に身近な福祉サービスを充実させなければなりません。子育て支援サービスや保育施設も充実し、安心して子どもを産み・育てられる環境も整えます。

その一つとして、泉地区に建設を進めている福祉複合施設が十一月にオープンする予定ですが、これは高齢者の生活支援ハウスや知的障害者の通所授産施設、保育所で構成されるものです。高齢者や障害者、子どもたちが共に過ごし、地域の人々と交流を重ねることに

より、市民共生の実現につながる試みとして期待できます。

また、今年は、より計画的かつ効果的に福祉・保健施策を展開していくため、「地域福祉計画」や「健康秋田21計画」の策定に取り組みたいと考えています。

産業 アクティブで 時代を先取りする 経営・技術の育成

景気低迷が深刻化しており、これを打開するためには大競争時代に対応できる企業自らの経営力の強化が求められますが、市では新技術の導入や新事業分野への進出・販路開拓などの企業戦略に対し、融資制度の充実や創業に向けての奨励制度、適切な情報提供などにより、積極的に支援し、二十一世紀に対応できる産業構造の構築に努めます。

また、失業・雇用問題が深刻化しており、昨年十一月に「秋田市緊急経済・雇用対策本部」を設置し、雇用創出などに向けて市の既存事業の見直しや新規事業の創出に総力を挙げて取り組んでいるところです。さらに平成十四年度予算には、新たに経済・雇用対策特別枠を設け、重点的に対応することとしています。

こうした中、明るい話題として秋田港の外国貿易定期コンテナ便の取扱本数が昨年、過去最高の二